

ComTech DriveCore Series

クイックガイド

安全上のご注意には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

⚠ 警告

- 必ずAC100V(50Hz/60Hz)の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり危険です。また、同梱された電源ケーブルは、他の機器に使用しないでください。
- 電源ケーブルの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。ケーブルが破損して火災や感電の原因となります。
- 確実にアース接続をしてください。また、アース線の脱着は電源を外してから行ってください。感電の原因となります。
- 濡れた手で、電源ケーブルや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常が起きたときは、ただちに電源を外し修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

- 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
- 機器の重量に耐える強度を持った安定した場所に設置してください。また、ラックに設置する際は、前面パネルだけでなく背面パネルも固定してください。落下によるけがや故障の原因となります。
- 以下のような場所に設置しないでください。火災や故障の原因となります。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・温度の特に高い場所、または低い場所
 - ・湿気の多い場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・振動の多い場所
- 通気性の良い場所に設置し、機器の吸気口や排気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。
- 機器の移動は、電源ケーブルや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。けがやケーブルの破損の原因となります。
- 他の機器との接続は、機器の電源を全て切ってから行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。
- スピーカーの破損を防ぐため、電源を入れるときは一番最後にこの機器の電源を入れてください。また、電源を切るときは一番最初に電源を切ってください。
- 出力の配線は、電源を切ってから10秒以上たった後で行ってください。また、出力ケーブルがシャーシや他のケーブルとショートしないよう十分注意してください。感電や故障の原因となります。
- 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。
- 長時間使用しないとき、または落雷の恐れがあるときは、電源ケーブルを取り外してください。火災や感電、故障の原因となります。

各部の名称と機能

前面パネル



1 - FAULT インジケータ

- ・出力チャンネルごとに赤色LEDを搭載。
- ・点滅 - 出力チャンネルが動作を停止しました。重大な故障が考えられます。修理を依頼してください。

2 - THERMAL インジケータ

- ・出力チャンネルごとに赤色LEDを搭載。
- ・点灯 - 過熱状態に近づいています。
音が歪むおそれがあります。

- ※ 加熱限界を超えると、出力チャンネルがペアで動作停止します。
- ※ 温度が通常の範囲まで低下するとLEDが消え、出力チャンネルの動作が復帰します。

3 - CLIP インジケータ

- ・出力チャンネルごとに赤色LEDを搭載。
- ・点灯 - 出力が過負荷状態です。常時点灯する場合は、出力レベルを下げてください。
- または、LIMITER機能(P3参照)をONにしている場合は、LIMITERが作動すると点灯します。

4 - SIGNAL インジケータ

- ・入力チャンネルごとに緑色LEDを搭載。
- ・点灯 - 入力信号が-24dBu以上の時。

5 - READY インジケータ

- ・入力チャンネルごとに緑色LEDを搭載。
- ・点灯 - 入力チャンネルの準備ができ、音声出力ができる状態です。
- ・点滅 - 出力チャンネルが待機の状態(スタンバイ)です。
※ DEEP SLEEPモード時(ページ下部参照)には点灯しません。

6 - 通気口(グリル)

- ・アンプを冷却するための空気の流入口です。絶対にふさがないようにください。

7 - POWER インジケータ

- ・青色LEDを搭載。
- ・点灯 - 電圧が稼働範囲内で供給されています。
- ・点滅 - 電圧が稼働範囲外になっています。
- または、DEEP SLEEPモードの時にPOWERスイッチが押されました。

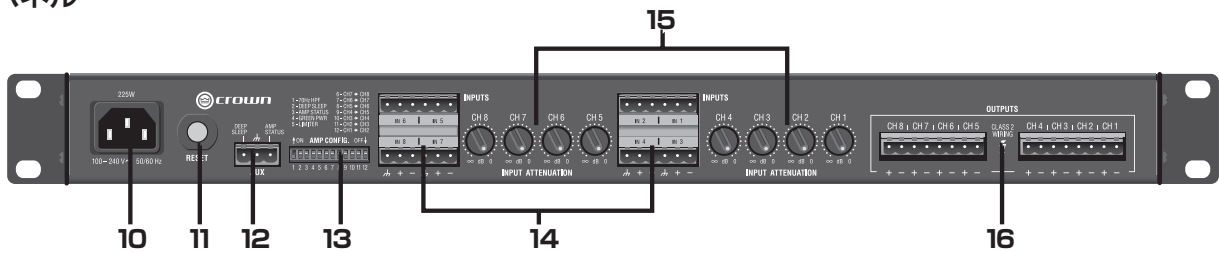
8 - DATA インジケータ

- ・今後のネットワーク拡張のための装備です。現在は使用しません。

9 - 電源スイッチ

- ・パワーアンプの電源をオン/オフします。

背面パネル



10 - 電源入力コネクタ

- ・電源ケーブルを接続します。

11 - リセットスイッチ

- ・プレーカーをリセットします。

12 - AUX PORT

- ・外部接点により DEEP SLEEPモードを有効にするほか、AMP STATUS(P3参照)信号を出力します。
- ・3-Pinユーロブロック端子。

●DEEP SLEEPモードについて

アンプを長時間使用しない場合、DEEP SLEEPモードにすると消費電力を1W以下に抑えられます。

このモードは、AUX PORTの、DEEP SLEEP端子とグラウンド端子を外部接点で接続して有効にします。接続を解除すると通常の動作に復帰します。

13 - 設定 DIP スイッチ(AMP CONFIG)

- ・70Hz HPF/AUTO STANDBY/AMP STATUS/GREEN PWR/LIMITER の設定を行います。設定の詳細はP3を参照してください。

14 - 入力端子

- ・入力機器と接続します。
- ・3-Pinユーロブロック端子(バランス)。

15 - 入力アッテネーション調整つまみ

- ・各チャンネルの入力レベルを調整します。
- ・調整範囲: -100dB~0dB(21段階)

16 - 出力端子

- ・スピーカーと接続します。
- ・4-Pinユーロブロック端子(2チャンネル単位)。
※ 2-Pin、または8-Pinのユーロブロック端子も使用可能。

DIP スイッチ設定

DIP スイッチは、以下の1～12番についての設定を行います。上げるとON、下げるとOFFになります。

1 - 70Hz HPF(ハイパスフィルター)

- ・ ONにすると、70Hz以下の信号を減衰します。
- ・ すべてのチャンネルに適用されます。

※出力トランス(オプション)の飽和を防止します。
※カーブ特性は2次型(12dB/oct)。

2 - AUTO STANDBY

- ・ ONにすると、AUTO STANDBYモードが有効になります。
- ・ 30分以上入力信号がない場合に、自動でアンプを待機状態にします(待機時はREADYインジケータが点滅します)。

3 - AMP STATUS

- ・ AMP STATUSは、アンプの異常を知らせる機能です。通常稼働時には、AUX PORTに一定のトーン信号を送り、過熱状態や異常が発生した場合、この信号を遮断します。
- ・ ON/OFFにより2種類の信号から選択できます。信号の発信自体は停止できません。
 - ・ ON - 1Hzのパルス信号をAUX PORTのAMP STATUS端子に送ります。
 - ・ OFF - ロジックハイレベル信号をAUX PORTのAMP STATUS端子に送ります。

・ AUX PORT出力電圧:5VDC 50mA

4 - GREEN PWR

- ・ 入力レベルに応じて、レール電圧の調整を行い、必要最小限の電力で動作します。消費電力を抑え、アンプを効率的に運用します。
- ・ ONに設定すると以下の動作になります。
 - 入力レベルが-40dBu以下の時、レール電圧の調整を行い、最小限の電力で稼働します。
 - 入力レベルが-40dBu以上の時、またはいずれかのチャンネルでクリップが起きた時、レール電圧をフルパワーまで上げて稼働します。

5 - LIMITER

- ・ ONに設定すると、オーバードライブ時にアンプゲインを減衰し、クリップノイズを出力しません。

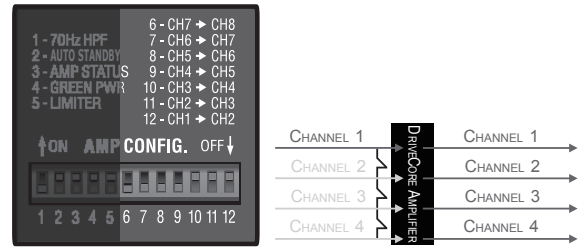
6～12 - 入力ルーティングの設定

- 入力ルーティングの設定を行うスイッチです。
- ・ ONに設定すると、隣接するチャンネルに入力信号を送ります。
 - ・ 入力機器が接続されている場合でも、ルーティングの設定を優先します。

※CT475、CT4150は、6～9番に機能が割り当てられていません。

●例:10番、11番、12番をONに設定

Ch1の入力信号が、Ch1、2、3、4から出力されます。

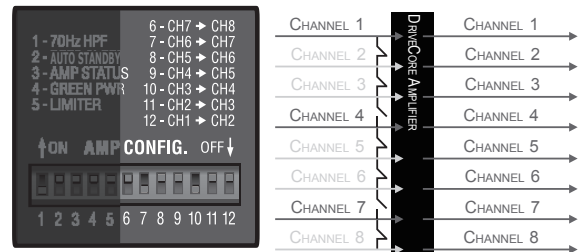


●例:6番、8番、9番、11番、12番をONに設定

Ch1の入力信号が、Ch1、Ch2、Ch3から出力されます。

Ch4の入力信号が、Ch4、Ch5、Ch6から出力されます。

Ch7の入力信号が、Ch7、Ch8から出力されます。

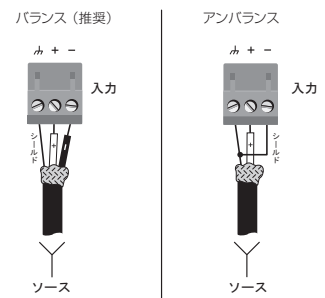


■入力ケーブルと端子について

この機器の接続は、プロフェッショナル用のバランスケーブル(2導体+シールド)を推奨します。

アンバランスケーブルは長く引き伸ばした際にノイズを誘導する可能性があります。

アンプ入力には3-Pinユーロブロック端子をご使用ください。



仕様

	CT475	CT4150	CT875	CT8150	
チャンネル数	4		8		
チャンネル出力(4/8Ω)	75W×4	125W×4	75×8	100W×8	
周波数特性(20Hz~20kHz, 1W)	±0.5dB				
S/N比(20Hz~20kHz, Aウェイト)	110dB				
THD(1kHz)	0.05%以下				
IMD(0dB~-30dB)	0.05%以下				
入力感度	1.4V				
出力コネクタ	ユーロブロック				
インジケータ	Ready, Signal, Clip, Thermal, Fault, Power, (Data)				
電源	AC100V, 50/60Hz				
消費電力	1/8出力、ピンクノイズ、4Ω	70W	100W	120W	160W
	AUTO STANDBY	11W	12W	17W	
	DEEP SLEEP	0.9W			
寸法(W×H×D)	483×44×405mm				
質量	3.6kg				

2017年10月版

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

HIBINO

<http://www.hibino.co.jp/>
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110 FAX: 03-5783-3111

札幌オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20
TEL: 011-640-6770 FAX: 011-640-6776

大阪ランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890 FAX: 06-6339-3891

名古屋オフィス
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26
TEL: 052-589-2712 FAX: 052-589-2719

福岡ランチ
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6
TEL: 092-611-5500 FAX: 092-611-5509